

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	※ 別紙（計1枚）	問いを正しく捉えてい れば、内容は異なっ てよい。	50		
	2	(1)	(オ)		各 5 × 4	
		(2)	(カ)			
		(3)	(ア)			
		(4)	(エ)			
	3	(1)	箏、三味線、尺八（又は胡弓）の3種の楽器で合奏すること。	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なっ てもよい。	5	
		(2)	①	(う)		各 5 × 4
			②	(お)		
			③	(あ)		
			④	(い)		

95

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点								
2	<p>題材名（教会旋法の特徴を生かして旋律をつくろう）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">時 間</td> <td style="text-align: center;">学 習 活 動</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教会旋法の特徴を捉える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スカボロー・フェア」で用いられているドリア旋法を基に、自由に音を出してみる。</li> <li>・他の教会旋法を基に、自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、それぞれの音階の特徴を共有する。</li> </ul> </li> <li>○教会旋法を用いた短い旋律をつくりながら、音を連ねたときの響きの特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの楽器で、ドリア旋法や他の教会旋法を用いた短い旋律をつくる。</li> <li>・音色による感じ方の違いや、音の連ね方による感じ方の違いについて話し合う。</li> <li>・教会旋法で音楽をつくることを確認する。</li> </ul> </li> <li>○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの教会旋法を基に、即興的に音を出す。</li> <li>・分かったことや気付いたことをワークシートに書く。</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいイメージをもち、音階の特徴や音を連ねたときの響きの特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの教会旋法を基に、様々な楽器を用いて即興的に音を出しながら、表したい音楽のイメージを膨らませる。</li> <li>・音色や音階の組合せを工夫しながら、創作表現について考える。</li> <li>・表したいイメージについて、実際に教会旋法を用いた旋律をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな夜に、星が神秘的に輝く様子</li> <li>・戦いに疲れた勇者が、古びた村にたどり着いた様子</li> <li>・五穀豊穡を願う村人が祭りで踊る様子</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。</li> <li>・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音階や音を連ねたときの響きの特徴と表したいイメージとを関わらせて、創作表現を創意工夫する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。</li> <li>・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。</li> <li>・つくった旋律を発表し、全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。</li> </ul> </li> <li>○題材のまとめと振り返りをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教会旋法の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて全体で意見交換をする。</li> <li>・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table>	時 間	学 習 活 動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教会旋法の特徴を捉える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スカボロー・フェア」で用いられているドリア旋法を基に、自由に音を出してみる。</li> <li>・他の教会旋法を基に、自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、それぞれの音階の特徴を共有する。</li> </ul> </li> <li>○教会旋法を用いた短い旋律をつくりながら、音を連ねたときの響きの特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの楽器で、ドリア旋法や他の教会旋法を用いた短い旋律をつくる。</li> <li>・音色による感じ方の違いや、音の連ね方による感じ方の違いについて話し合う。</li> <li>・教会旋法で音楽をつくることを確認する。</li> </ul> </li> <li>○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの教会旋法を基に、即興的に音を出す。</li> <li>・分かったことや気付いたことをワークシートに書く。</li> </ul> </li> </ul>	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいイメージをもち、音階の特徴や音を連ねたときの響きの特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの教会旋法を基に、様々な楽器を用いて即興的に音を出しながら、表したい音楽のイメージを膨らませる。</li> <li>・音色や音階の組合せを工夫しながら、創作表現について考える。</li> <li>・表したいイメージについて、実際に教会旋法を用いた旋律をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな夜に、星が神秘的に輝く様子</li> <li>・戦いに疲れた勇者が、古びた村にたどり着いた様子</li> <li>・五穀豊穡を願う村人が祭りで踊る様子</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。</li> <li>・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。</li> </ul>	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音階や音を連ねたときの響きの特徴と表したいイメージとを関わらせて、創作表現を創意工夫する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。</li> <li>・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。</li> <li>・つくった旋律を発表し、全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。</li> </ul> </li> <li>○題材のまとめと振り返りをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教会旋法の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて全体で意見交換をする。</li> <li>・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。</li> </ul> </li> </ul>	<p>題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	65
時 間	学 習 活 動										
第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教会旋法の特徴を捉える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スカボロー・フェア」で用いられているドリア旋法を基に、自由に音を出してみる。</li> <li>・他の教会旋法を基に、自由に音を出したり、聴いたりしながら、感じ取ったことを話し合い、それぞれの音階の特徴を共有する。</li> </ul> </li> <li>○教会旋法を用いた短い旋律をつくりながら、音を連ねたときの響きの特徴を捉え、本題材の学習の見通しをもつ。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの楽器で、ドリア旋法や他の教会旋法を用いた短い旋律をつくる。</li> <li>・音色による感じ方の違いや、音の連ね方による感じ方の違いについて話し合う。</li> <li>・教会旋法で音楽をつくることを確認する。</li> </ul> </li> <li>○再度自由に音を出し、自分のイメージを膨らませる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの教会旋法を基に、即興的に音を出す。</li> <li>・分かったことや気付いたことをワークシートに書く。</li> </ul> </li> </ul>										
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表したいイメージをもち、音階の特徴や音を連ねたときの響きの特徴を生かして創意工夫し、旋律をつくる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの教会旋法を基に、様々な楽器を用いて即興的に音を出しながら、表したい音楽のイメージを膨らませる。</li> <li>・音色や音階の組合せを工夫しながら、創作表現について考える。</li> <li>・表したいイメージについて、実際に教会旋法を用いた旋律をつくる場合のイメージとはどのようなものがあるか考える。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;予想される、生徒が考える「表したいイメージ」の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かな夜に、星が神秘的に輝く様子</li> <li>・戦いに疲れた勇者が、古びた村にたどり着いた様子</li> <li>・五穀豊穡を願う村人が祭りで踊る様子</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行錯誤しながら旋律をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。</li> <li>・実際に演奏しながら、どのように旋律をつくるかについて考え、つくった旋律をワークシートに書く。</li> </ul>										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音階や音を連ねたときの響きの特徴と表したいイメージとを関わらせて、創作表現を創意工夫する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人一組になり、ワークシートに書いた旋律を演奏する。</li> <li>・実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら旋律をつくり、つくった旋律について互いに助言をする。</li> <li>・つくった旋律を発表し、全体で作品についての意見を出し合い、自分の作品を再度見直す。</li> </ul> </li> <li>○題材のまとめと振り返りをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教会旋法の特徴を生かした創作表現について、自分の考えの深まりや広がりについての変容を振り返り、感じたことについて全体で意見交換をする。</li> <li>・再度、それぞれの作品を演奏し、楽しむ。</li> </ul> </li> </ul>										

高等学校芸術科（音楽）採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
3	<p>例えば、同一曲を異なる奏者の演奏で聴かせ、「それぞれの演奏から、魔法をかけられたほうきの動きをどのように想像しましたか。」 「同じ曲なのに、なぜそのような違いを感じたのでしょうか。」と問うなど、生徒が曲想や表現上の効果を感じ取り、感じ取った理由を、音楽の構造の視点から自分自身で捉えていく過程を重視した指導。</p> <p>例えば、「魔法をかける前のほうきは、クラリネットで演奏される旋律がまるでため息のように聴こえたけれど、魔法をかけた後のほうきは、ファゴットの独特な音色が旋律のおどけた感を強調していて、ほうきの性格まで変わってしまったように感じられる。この曲は、オーケストラで演奏されるからおもしろい。」など、曲や演奏について、曲や演奏を聴いて感じ取った自己のイメージや感情、曲想と音楽の構造との関わりなどを根拠に批評する活動などを取り入れた指導。</p>	<p>問いを正しく捉えていけば、表現は異なっていてよい。</p>	<p>各 15 × 2  30</p>
4	<p>視唱や視奏、読譜や記譜などを、音楽活動と切り離して単独で扱うのではなく、「A表現」の学習の過程に位置付け、「知識及び技能」の習得や「思考力、判断力、表現力等」の育成と関わらせて扱うようにする必要がある。</p>	<p>内容を正しく捉えていけば、表現は異なっていてよい。</p>	<p>10</p>

1

1

著作権保護の観点により、掲載いたしません。